

週間情報

No. **0836**

発行: 全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ 「北海道広域消防相互応援協定訓練研修会」を実施

[全国消防長会北海道支部道央地区協議会](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽訓 練

- ◆ 「知多地域消防職員合同潜水訓練」を実施

[常滑市消防本部 \(愛知\)](#)

- ◆ 「災害時における消防用水の確保に関する協定」に基づく実動訓練を実施

[鳥取中部ふるさと広域連合消防局 \(鳥取\)](#)

- ◆ 「ドクターヘリ補完的運航合同訓練」を実施

[かすみがうら市消防本部 \(茨城\)](#)

- ◆ 「化学物質災害事故に対する救助訓練 (多数傷病者)」を実施

[田原市消防本部 \(愛知\)](#)

- ◆ 解体予定の建物を活用した実践訓練を実施

[羽島市消防本部 \(岐阜\)](#)

- ◆ 工事業者と合同で熱中症対応・救助訓練を実施

[豊橋市消防本部 \(愛知\)](#)

▽研 修

- ◆ 「消防法令違反是正研修会」を実施

[坂出市消防本部 \(香川\)](#)

- ◆ 「令和8年度大垣消防組合ハイパフォーマンスCPR研修会」を開催

[大垣消防組合消防本部 \(岐阜\)](#)

- ◆ 「令和8年度第2回総務研修会」を実施

[鳥取県東部広域行政管理組合消防局 \(鳥取\)](#)

- ◆ 「令和8年度財務関係基礎研修会」を実施

[佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 \(千葉\)](#)

▽その他

- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

[室蘭市消防本部 \(北海道\)](#)

- ◆ 女子サッカーチーム「ヴィアマテラス宮崎」で初の救命講習 (PUSHコース) を開催

[宮崎県東児湯消防組合消防本部 \(宮崎\)](#)

- ◆ 「つくばカピオ開館30周年記念企画避難訓練コンサート」に消防音楽隊が出演

[つくば市消防本部 \(茨城\)](#)

- ◆ 教職員を対象とした「消防用設備等の実地研修」を実施

[長野市消防局 \(長野\)](#)

[目次に戻る](#)

- ◆ 「はたらく消防の写生会」表彰式と防災イベントを開催

東京消防庁（東京）

- ◆ 東京サントリーサンゴリアスとの合同トレーニングを実施

市原市消防局（千葉）

- ◆ 学校教職員を対象に消防訓練を実施

蒲郡市消防本部（愛知）

- ◆ 市民を対象としたＤＮＡＲ勉強会を開催

中津川市消防本部（岐阜）

- ◆ 「避難器具などの取り扱いを学ぶ研修会」を実施

十日町地域消防本部（新潟）

- ◆ 感震ブレーカーの普及啓発強化月間を開始

加古川市消防本部（兵庫）

- ◆ 外国人を対象とした防火講習を開催

石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

- ◆ 観光地の防災力向上研修会を開催

日光市消防本部（栃木）

- ◆ 救急医療週間における救急広報活動を実施

和泉市消防本部（大阪）

- ◆ 救急医療週間に合わせて「レシート広報」を実施

堺市消防局（大阪）

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ 移動タンク貯蔵所等に対する立入検査の実施について

（消防危第208号、令和8年9月2日）

- ◆ 令和8年秋季全国火災予防運動の実施について

（消防予第397号、令和8年9月7日）

- ◆ 令和8年秋季全国火災予防運動の実施について

（消防予第400号、令和8年9月7日）

▽情報提供

- ◆ 第65回火災科学セミナーの開催について

公益社団法人 日本火災学会

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)

両会の動き

◆ 「北海道広域消防相互応援協定訓練研修会」を実施

全国消防長会北海道支部道央地区協議会

全国消防長会北海道支部道央地区協議会では、令和8年9月2日（水）、3日（木）の2日間、道央地区19消防本部（局）から70人が参加し、「北海道広域消防相互応援協定訓練研修会」を実施しました。

この研修会は、北海道広域消防相互応援協定に基づく連携強化と応援活動能力の向上を目的として実施したものです。

訓練当日は、「直下地震により羊蹄山ろく消防組合管内で最大震度6弱を観測し、被災地を管轄する管理者から、北海道広域消防相互応援協定に基づく『陸上第2要請』があった」との想定で、災害発生時の情報伝達訓練および実動訓練（部隊参集訓練および後方支援活動）を実施しました。

後方支援活動訓練では、後方支援隊長の指揮のもと、宿営エリア、給食エリア、デコンターミネーションエリアなどの設営を行い、応援部隊を支える後方支援の重要性について理解を深めました。

今後も、道央地区内の消防本部（局）との連携を一層強化し、災害対応力の向上に努めてまいります。



【部隊参集訓練の様子】



【宿営エリア設営の様子】

消防本部の動き

▽訓練

◆ 「知多地域消防職員合同潜水訓練」を実施

常滑市消防本部（愛知）

常滑市消防本部では、令和8年8月7日（金）、セントレア高速船乗り場北側海域において、中部空港海上保安航空基地、知多地域6消防本部の計7機関合同で「知多地域消防職員合同潜水訓練」を実施しました。

この訓練は、水難事故発生時に、各機関が連携をとりながら迅速かつ適切な水難救助活動を行えるよう、潜水活動能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

訓練を通して、各機関が迅速かつ的確な救助活動を展開するための技術を確認するとともに、実災害時の協力体制を確認し、さらなる連携強化につなげることができました。

今後も、関係機関との連携を密にし、継続的に訓練を重ね、連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

[目次に戻る](#)

◆ 「災害時における消防用水の確保に関する協定」に基づく実動訓練を実施

鳥取中部ふるさと広域連合消防局（鳥取）

鳥取中部ふるさと広域連合消防局では、令和8年8月7日（金）、林野火災を想定した「災害時における消防用水の確保に関する協定」に基づく実動訓練を実施しました。

この訓練は、消防水利の確保が困難な地域における消防活動を想定し、長距離ホース延長やドローンによる情報収集に加え、鳥取県が主体となり、令和7年度に締結した「災害時における消防用水の確保に関する協定」の実効性を検証することを目的として実施したものです。

当日は、協定に基づき、中部地区生コンクリート協同組合のミキサー車による消防用水の搬送および給水活動を実施しました。

消防機関と協定構成団体との応援・受援体制を確認し、実災害を見据えた連携体制の強化を図りました。



【訓練の様子】

◆ 「ドクターヘリ補完的運航合同訓練」を実施

かすみがうら市消防本部（茨城）

かすみがうら市消防本部では、令和8年8月20日（木）、かすみがうら市多目的運動広場およびわかぐり運動公園サッカー場において、「ドクターヘリ補完的運航合同訓練」を実施しました。

この訓練は、茨城県防災航空隊、土浦協同病院および当消防本部の関係機関相互の連携強化を図ることを目的として、「重症傷病者が発生した」との想定で救急搬送活動を行ったものです。

当日は、胸痛を発症した傷病者の発生と交通事故による負傷者の発生という2つの事案を想定しました。

土浦協同病院の医師・看護師を搭乗させた茨城県防災航空隊と救急隊が訓練場所でランデブーし、傷病者を同病院へ搬送する一連の活動を実施しました。

訓練を通じて、医療機関、航空隊および消防機関の情報共有や活動手順を確認し、関係機関の連携を強化することができました。



【訓練の様子】

◆ 「化学物質災害事故に対する救助訓練（多数傷病者）」を実施

田原市消防本部（愛知）

田原市消防本部では、令和8年8月21日（金）、田原市ふるさと教育センターにおいて、ドクターヘリ2機（愛知医科大学病院・藤田医科大学病院）と渥美病院との合同で、化学物質災害事故に対する救助訓練を実施しました。

この訓練は、本市における化学物質漏えいによる多数傷病者の発生事案に対する災害対応能力の向上および基本的な活動モデルを構築することを目的として実施したものです。

当日は、互いの専門知識や技術を共有し、連携体制と基本的な活動要領を確認しました。

さらに、訓練後の検証会では、ドクターヘリ2機運用の有効性や、消防指揮本部に医療機関が入り、協働で活動を進めていく利点について検証しました。

今後も、半島という地理的特性を踏まえ、医療機関との連携強化を図るとともに、地域住民の安全・安心なまちづくりに努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の建物を活用した実践訓練を実施

羽島市消防本部（岐阜）

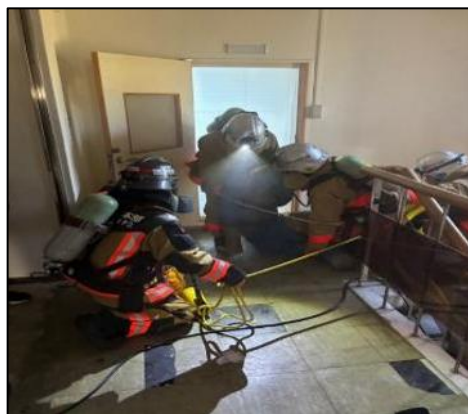
羽島市消防本部では、令和8年8月20日（木）、23日（日）の2日間、老朽化により取り壊されることとなった「羽島市いきいき元気館」において、解体前の建物を活用した実践訓練を実施しました。

これは、実際の建物を活用し、内部構造が分からない火災現場を想定した実践的な訓練を行うことで、災害対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、消火活動をはじめ、スモークマシンを使用した濃煙内での要救助者検索や木製扉・鉄製扉の開錠などを実施しました。

普段の訓練施設では再現が難しい実際の建物内での活動を経験することで、より実践的な活動能力の向上につながりました。

今後も、あらゆる状況を想定した訓練を重ね、災害対応力の向上と安全・安心なまちづくりに努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 工事業者と合同で熱中症対応・救助訓練を実施

豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、令和8年8月28日（金）、豊橋市神野ふ頭町の港大橋において、工事業者と合同で熱中症対応・救助訓練を実施しました。

この訓練は、特殊な環境下における確実な救命・救助のため、工事業者との連携体制を強化することを目的として実施したものです。

当日は、「狭隘な仮設足場で作業員が体調を崩した」との想定で、事前講習を受けた作業員が簡易アイスバスなどで体を冷やす初期対応や救助要請を行いました。

救急隊は、通常の担架が使用できない狭い空間に合わせ、布製担架を使用して作業員を搬送しました。

また、「仮設足場から転落し宙吊りになった作業員に、地上からの接近が困難」との想定で、橋上から進入した救助隊員が作業員に救助用縛帯（サバイバースリング）を装着しました。

さらに、救助工作車のクレーンに取り付けた引揚げ救助用器具（プーリーキット）を使用し、橋上へ救出する訓練を実施しました。



【訓練の様子】

▽ 研 修

◆ 「消防法令違反是正研修会」を実施

坂出市消防本部（香川）

坂出市消防本部では、令和8年8月7日（金）、当消防本部3階大会議室において、全職員69人を対象に「消防法令違反是正研修会」を実施しました。

この研修会は、違反是正を予防業務従事者だけの課題とせず、組織として取り組む体制を構築し、組織全体の意識向上を図ることを目的として実施したものです。

また、違反是正の事例が少なく、実務上の知見が十分に蓄積されていないことから、専門的な知識の習得にも取り組みました。

当日は、全国違反是正支援アドバイザーおよび都道府県違反是正支援アドバイザーを講師としてお招きし、「違反是正体制の構築」および「過去の重大火災と未来志向の是正指導について」の講演を聴講したほか、実際の事例を題材とした事例検討にも取り組み、違反是正に関する知識と理解を深めました。

今回の研修で得た知識や知見を今後の業務に生かし、組織一丸となって違反是正に取り組むことで、より一層の火災予防の推進に努めてまいります。



【講演の様子】



【事例検討の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 「令和8年度大垣消防組合ハイパフォーマンスCPR研修会」を開催

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、令和8年8月25日（火）から27日（木）までの3日間、各所属から選出された救急隊員を対象に「令和8年度大垣消防組合ハイパフォーマンスCPR研修会」を開催しました。

この研修会は、心肺停止傷病者の社会復帰率向上という組織目標の達成に向け、全救急隊でハイパフォーマンスCPRを実践することを目的として実施したものです。

当日は、管内の三次医療機関である大垣市民病院から木村拓哉先生を講師としてお招きし、ご指導いただきました。

さらに、救急車に積載しているモニター除細動器および自動胸骨圧迫装置について、各業者から専門的な知識や救急現場での活用方法を学び、有意義な研修となりました。

今後は、救急活動データを分析して本研修会の成果を評価し、教育方法に反映させていく予定です。



【研修会の様子】

◆ 「令和8年度第2回総務研修会」を実施

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和8年8月27日（木）、職員を対象に「令和8年度第2回総務研修会」を実施しました。

この研修会は、職員がSNSの特性を理解し、住民に必要な情報を効果的かつ適切に発信できるよう、SNSの活用方法や情報発信に伴うリスク管理を学ぶことを目的として実施したものです。

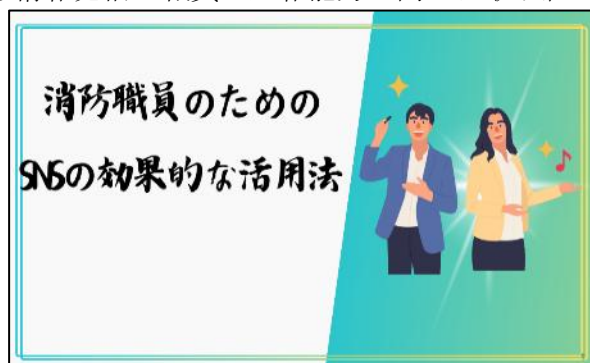
当日は、発信者が伝えたい情報ではなく、受け手が知りたい情報を発信することの重要性や、住民が実際の行動につながられるよう、目的を明確にした情報発信について学びました。

また、誰にでも分かりやすい表現や写真・動画への文字情報の加え方など、SNSで効果的に伝える手法について理解を深めました。

さらに、画像作成ツールを活用したワークショップでは、防災・減災を題材に、住民の視点からSNS投稿を企画する実践的な演習を行いました。

一方で、個人情報や機密情報等の漏えい、著作権等の権利侵害など、SNS特有のリスクについても確認し、投稿前の確認の重要性を再認識しました。

今後も、住民にとって有益で分かりやすく、信頼される消防広報の実現に向け、効果的かつ適切な情報発信と職員の広報能力の向上に取り組んでまいります。



【研修内容】



【研修会の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 「令和8年度財務関係基礎研修会」を実施

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部（千葉）

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部では、令和8年8月27日（木）、28日（金）の2日間、「令和8年度財務関係基礎研修会」を実施しました。

この研修会は、職員の財務意識を高め、適正かつ効率的な事務処理について理解を深めることを目的として実施したものです。

期間中は、総務課経理系の職員が講師を務め、財務に関する基本的な法令知識やルールなどを学びました。

今後も限られた財源を適正かつ有効に活用し、構成市町および住民から信頼される組合運営に努めてまいります。



【研修会の様子】

▽その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

室蘭市消防本部（北海道）

室蘭市消防本部では、令和8年9月2日（水）、消防協力者である室蘭工業大学バスケットボール部に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、バスケットボールの練習中に学生の一人が突然体調不良となり、その後、心肺停止状態となったことから、チームメイトが119番通報を行い、救急車が到着するまでの間、胸骨圧迫を行うとともにAEDを装着し、電気ショックを2回実施した後、救急隊に引き継いだものです。

チーム一丸となって仲間を救うために行動した結果、尊い命が救われ、無事に社会復帰を果たした功績をたたえ、感謝状を贈呈しました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ **女子サッカーチーム「ヴィアマテラス宮崎」で初の救命講習（PUSHコース）を開催**
宮崎県東児湯消防組合消防本部（宮崎）

宮崎県東児湯消防組合消防本部では、令和8年8月17日（月）、管内の新富町をホームタウンとする女子サッカーチーム「ヴィアマテラス宮崎」の選手やスタッフを対象に、当消防本部で初となる救命講習（PUSHコース）を開催しました。

この講習は、スポーツ現場や日常生活における万が一の事態に備え、迅速な応急手当の方法を習得することを目的として実施したものです。

当日は、簡易トレーニングキット「あっぱくん」を使用し、参加者は最も重要な胸骨圧迫やAEDの使い方、誰かが倒れたときの「声をかける勇気」について、短時間で効率よく学びました。

選手らは抜群の集中力とチームワークで実技に臨み、適切な圧迫の強さやテンポを体感しました。

受講後には、「ピッチの内外を問わず、目の前で倒れた人がいたら、勇気を持って救命活動を行いたい」と頼もしい言葉が聞かれました。

今後も今回の取り組みを契機として、管内における応急手当の普及に努めてまいります。



【講習の様子】



【講習後の記念撮影】

◆ **「つくばカピオ開館30周年記念企画避難訓練コンサート」に消防音楽隊が出演**
つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、令和8年8月18日（火）、「つくばカピオ開館30周年記念企画避難訓練コンサート」において、消防音楽隊が出演しました。

このコンサートは、防火・防災意識の向上と避難行動の再確認を目的として実施したものです。

当日は、コンサート中に地震や火災などの災害が発生したことを想定し、来館者や出演者、スタッフ全員が実際に避難行動を行いました。

今回の機会を生かし、今後も防火・防災の啓発活動に積極的に取り組んでまいります。



【消防音楽隊の様子】



【訓練の様子】

◆ 教職員を対象とした「消防用設備等の実地研修」を実施

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、令和8年8月19日（水）、長野市教育委員会にご協力いただき、長野市立吉田小学校において、市立小・中学校の教職員（主に防火管理者）73人を対象に「消防用設備等の実地研修」を実施しました。

この研修は、6月に東京都北区の小学校で発生した火災を踏まえ、学校で火災が発生した場合の対応方法を総合的に理解し、対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、座学研修を行ったほか、自動火災報知設備や屋内消火栓設備の概要を説明し、教職員が実際に避難器具（垂直式の救助袋・緩降機）を使用した降下体験を行いました。

また、防火戸を実際に閉鎖して特性を説明するとともに、階段を使用した避難の有効性についても確認しました。

参加者からは、「実際に見て確認することで理解が深まった」「児童・生徒の命を守るために必要な知識を得ることができた」との声がありました。

参加者が一堂に会し、認識を共有することができ、有意義な研修となりました。



【座学研修の様子】



【救助袋設定の様子】

◆ 「はたらく消防の写生会」表彰式と防災イベントを開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁練馬消防署では、令和8年8月23日（日）から25日（火）までの3日間、「はたらく消防の写生会」で優秀賞を受賞した児童を対象に、表彰式と防災イベントを開催し、保護者を含め112人が来場しました。

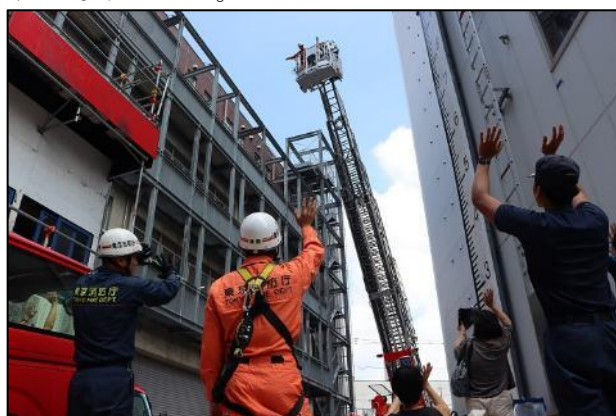
表彰式は、来場したご家族ごとに行い、待ち時間がなくリラックスして過ごせる雰囲気づくりを心掛け、受賞した児童一人ひとりが主役となるよう工夫しました。

表彰式後には、防災訓練車を活用した初期消火訓練やはしご車の搭乗体験を行いました。

署員から祝福を受けて少し照れた表情を見せる児童や緊張しながらはしご車に乗り込む児童の姿も見られ、子どもたちにとって思い出に残る一日となりました。



【表彰式後の記念撮影】



【はしご車搭乗体験の様子】

◆ 東京サントリーサンゴリアスとの合同トレーニングを実施

市原市消防局（千葉）

市原市消防局では、令和8年8月26日（水）、市総合防災センターにおいて、ジャパンラグビーリーグワン所属の東京サントリーサンゴリアスと合同トレーニングを実施しました。

これは、市内で合宿を行った東京サントリーサンゴリアスからの申し入れにより、トレーニングを通じたチームビルディングを目的として実施したものです。

当日は、ホースカー搬送や煙道通過など、消防資機材を活用したトレーニングを行い、心身を鍛えるとともに、プロアスリートと一緒にトレーニングを行う貴重な機会となりました。

また、市内外から見学者を募り、トレーニングの様子をご覧いただくことで、消防職員のたくましさや「頼れる消防職員像」をアピールしました。

今後も、戦略的かつ積極的な広報を推進し、消防職員の魅力を発信してまいります。



【トレーニングの様子】



【トレーニング後の記念撮影】

◆ 学校教職員を対象に消防訓練を実施

蒲郡市消防本部（愛知）

蒲郡市消防本部では、令和8年8月26日（水）、当消防本部において、市内の小中学校教職員を対象とした消防訓練を実施しました。

この訓練は、6月に東京都北区で発生した小学校火災を受け、市内の小中学校に立入検査を行った際に、消防用設備等を使用した訓練をする機会が少ないという声が複数あったことから、火災発生時の対応力向上を目的として実施したものです。

訓練には市内の小中学校教職員26人が参加し、当消防本部内に設置されている避難器具の垂直式救助袋や屋内消火栓設備の取り扱い訓練、煙体験を行いました。

訓練を体験した教職員からは、「放水を体験したが、意外にホースが重く感じ、自由が利かなかった」「救助袋を初めて使用し、使い方などを同僚教職員に伝えることが必要だと感じました」などの感想が聞かれました。



【訓練の様子（救助袋）】



【訓練の様子（屋内消火栓設備）】

◆ 市民を対象としたD N A R勉強会を開催

中津川市消防本部（岐阜）

中津川市消防本部では、令和8年8月26日（水）、市内の公民館において、阿木診療所にご協力いただき、市民を対象としたD N A R勉強会を開催しました。

この勉強会は、人生会議の普及と救急隊のD N A Rプロトコルの周知を目的として実施したものです。

当日は、はじめにA C P、D N A Rについての座学を行い、次に、「自宅でD N A R書面が提示された」との想定で救急活動の実演を行いました。

終了後には、同診療所の伴信太郎医師、ケアマネジャー、救急救命士が質問に回答しました。

救急隊による心肺蘇生の中止は容易ではないため、人生の最期の迎え方を家族で話し合う「人生会議」を開き、価値観を共有してくださいと呼びかけました。

当消防本部でも、高齢化とともに救急車の出動件数が増加し、現場到着時間が年々延長しています。

必要とする人のもとに救急車が向かえるよう、適正利用の推進という面でも、この活動を続けてまいります。



【座学の様子】



【実演の様子】

◆ 「避難器具などの取り扱いを学ぶ研修会」を実施

十日町地域消防本部（新潟）

十日町地域消防本部では、令和8年8月28日（金）、市内の小学校において、外郭団体である十日町地域防火管理者協議会と連携し、小学校、中学校および高等学校の教職員を対象とした「避難器具などの取り扱いを学ぶ研修会」を実施しました。

この研修会は、令和8年6月19日に発生した東京都北区の小学校火災を受けて行った緊急査察の際に、教職員から避難器具の使用に関して不安の声があったことから実施したものです。

当日は、学校に設置されている救助袋および緩降機を使用し、設備業者から設定方法や注意点などの説明を受けた後、一人ひとりが避難器具を使用して地上に降りました。

体験した教職員からは、「避難器具の使い方を知ることができて大変ためになった。学校に帰って他の教員にしっかりと伝えたいと思う」などの声が聞かれ、有意義な研修会となりました。



【訓練の様子】



◆ 感震ブレーカーの普及啓発強化月間を開始

加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、令和8年9月1日（火）、9月の防災月間に合わせ感震ブレーカーの普及啓発強化月間を開始しました。

これは、感震ブレーカーの認知度向上と地震による電気火災への備えを促進することを目的として実施するものです。

強化月間は、同月30日（水）までとし、消防署に懸垂幕を掲出するほか、のぼり旗の設置や町内会掲示板へのポスター掲示を行います。

また、広報資材には、加古川市まちの魅力発信キャラクター「かこのちゃん」と当消防本部オリジナルキャラクター「防カルくん」を活用し、親しみやすく印象に残るデザインで周知啓発を図ってまいります。



【懸垂幕】



【のぼり旗】

◆ 外国人を対象とした防火講習を開催

石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

石狩北部地区消防事務組合消防本部では、令和8年9月3日（木）、当別町立とうべつ学園（義務教育学校）において、パキスタン人の児童・生徒およびその保護者を対象とした防火講習を開催しました。

この講習は、外国人が火災予防や地震対策、119番通報要領などを学ぶ機会を提供することを目的として実施したものです。

近年、当別町内ではパキスタン人居住者が急増していることから、とうべつ学園と連携し、ウルドゥー語の通訳者を介して講習を実施しました。

災害時の情報を得る機会が限られている外国人にとって関心の高い内容となり、このような事業の重要性を強く実感しました。



【講習の様子】

◆ 観光地の防災力向上研修会を開催

日光市消防本部（栃木）

日光市消防本部では、令和8年9月3日（木）、日光市中央公民館において、観光地の防災力向上研修会を開催しました。

この研修会は、市内の観光関連事業者のほか、さまざまな業種の防火管理者などを対象に、観光危機管理の充実を図ることを目的として実施したものです。

研修会では、跡見学園女子大学観光学部の鍵屋教授による講演やワークショップを行い、参加者同士で意見交換を行うなど、交流を深めました。

災害に強いまちづくりに向け、観光危機管理の充実に努めてまいります。



【講演の様子】



【ワークショップの様子】

◆ 救急医療週間における救急広報活動を実施

和泉市消防本部（大阪）

和泉市消防本部では、令和8年9月6日（日）、スターバックスコーヒー和泉府中店にご協力いただき、救急医療週間における救急広報活動を実施しました。

これは、若年層を重点対象とし、消防・救急に関心を持つきっかけをつくることで、将来的な地域防災の担い手となる世代への意識啓発や、救急車の適正利用につなげることを目的として実施したものです。

今回の活動では、若い世代が日常的に利用する店舗にご協力いただくことで、消防・救急に関心を持つきっかけづくりを図りました。



【活動の様子】



【記念撮影】

◆ 救急医療週間に合わせて「レシート広報」を実施

堺市消防局（大阪）

堺市消防局では、令和8年9月6日（日）から9月12日（土）までの間、高石消防署において、「救急医療週間」に合わせ、高石市内の9店舗の協力のもと、レシートを活用した広報活動を実施しました。

これは、救急車の適正利用を推進することを目的として実施したものです。

協力店舗では、買い物の際に渡すレシートに、救急車の適正利用のお願いや、「#7119（救急安心センターおおさか）」に関する案内を印字し、市民への周知を図りました。

【ご協力いただいた店舗】

株式会社銀装 羽衣工場売店、銀装&Café羽衣、オークワ 高石羽衣店、関西スーパー 高石駅前店、じゃんぼ食鮮館 羽衣店、日之出屋 羽衣店、サンドラッグ 綾園店、サンドラッグ 高石店、エーワン石油 羽衣SS



【レシート広報】



【取り組みの詳細】
(高石消防署ホームページ)

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 移動タンク貯蔵所等に対する立入検査の実施について

(消防危第208号、令和8年9月2日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物の移送又は車両による危険物の運搬中における災害は、一度発生すれば、国民の生命、身体及び財産に重大な危害を及ぼすおそれがあるほか、交通遮断による経済活動の停滞等、社会生活に多大な影響を及ぼすこととなります。

つきましては、移動タンク貯蔵所等による事故の未然防止と危険物取扱者の遵法意識の高揚を図るため、下記の要領で立入検査を実施し、より一層の安全確保の徹底を図るようお願いします。
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/kikennbutu208.pdf>) に掲載されています。

消防庁危険物保安室 担当：下田、笹壁 TEL：03-5253-7524（直通） E-mail：kikenbutsukiseijimu@ml.soumu.go.jp
--

◆ 令和8年秋季全国火災予防運動の実施について

(消防予第397号、令和8年9月7日)

消防庁長官から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

本年の秋季全国火災予防運動については、令和8年11月9日から15日までの7日間にわたり、別添「令和8年秋季全国火災予防運動実施要綱」に基づき、実施することといたします。
(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/2026_09_07_yobol.pdf) に掲載されています。

◆ 令和8年秋季全国火災予防運動の実施について

(消防予第400号、令和8年9月7日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和8年秋季全国火災予防運動については、令和8年9月7日付け消防予第397号により実施要綱を定め、各都道府県知事等あてに消防庁長官から通知したところですが、当該実施要綱に掲げる重点項目等の実施にあたり参考になると考えられる事項を、別添のとおりとりまとめましたので送付します。(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/2026_09_07_yobo2.pdf) に掲載されています。

▽情報提供

◆ 第65回火災科学セミナーの開催について

公益社団法人 日本火災学会

平素より、日本火災学会にご指導とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当学会では、毎年火災科学セミナーを開催し、火災科学の振興と普及に努めているところですが、今年はさいたま市と大阪市の2会場で開催することとなりました。

多数の皆さまのセミナーへのご参加をお待ちしております。

1 東日本会場（さいたま会場）

(1) セミナー主題

住宅火災に関するリスク評価と対応戦略

(2) 開催日時

令和8年12月9日（水） 13時00分から16時40分まで

(3) 開催場所

さいたま市浦和区東高砂町11番1号 浦和コミュニティセンター「多目的ホール」

2 中部・西日本会場（大阪会場）

(1) セミナー主題

近年における電気火災の動向について

(2) 開催日時

令和8年10月20日（火） 13時00分から16時40分まで

(3) 開催場所

大阪市阿倍野区阿倍野筋4丁目19番118号 大阪市立阿倍野区民センター「大ホール」

3 参加料（PDF版テキスト含む）

(1) 会員、賛助会員（当該団体に勤務する職員を含む）、後援団体職員および消防職員

3,000円

(2) 一般（非会員）

5,000円

※参加者へはPDF講演資料のダウンロードリンクをご案内します。

4 お申込み方法

Paymentによる申込方法を日本火災学会ホームページ (<https://jafse.smoosy.atlas.jp/ja>) にてご案内しておりますので、ご覧ください。

連絡先

公益社団法人日本火災学会 事務局長 谷内

E-mail: kasai50@sepia.ocn.ne.jp

[目次に戻る](#)

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間にも共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・トップ・セカンド記事 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・消防ワイド 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度／写真:JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

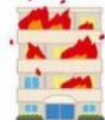
トップ・セカンド記事:kikakeikaku@fcj.jp 消防ワイド:honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設！

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。
フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X(旧 Twitter) 登録用二次元コード

